

弘前大学学報



第13回弘前大学総合文化祭

第 115 号
平成25年10月号

学内ニュース

○平成25年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式	-----	1
○平成25年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式告辞		
弘前大学長 佐藤 敬	-----	2
○平成25年度 弘前大学「HIROSAKIはやぶさカレッジ」入校式	-----	3
○人文学部2年 辰巳真広さんに学長特別賞を授与しました (「MOS世界学生大会2013」エクセル部門 世界第8位入賞)	-----	4
○名誉教授との懇談会を開催	-----	5
○学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム 平成25年度「共通授業」開講	-----	6
○弘前大学延辺事務所開所式	-----	7
○弘前大学資料館 第2回企画展 開催	-----	8
○マツダ財団研究助成「青少年健全育成関係」部門に採択	-----	9
○第13回弘前大学総合文化祭「テーマ『結 -むすぶ-』」を開催	-----	10
○コンケン大学 人文社会学部長等来学	-----	14
○延辺大学 朴 一龍 教授、裴 英玉 副教授が来学	-----	15
○テネシー大学マーチン校 (UTM) Richard J. Helgeson先生が来学	-----	16

諸 会 議	-----	17
--------------	-------	----

人 事

○新任部局長等紹介	-----	19
○人事異動	-----	19

主要日誌	-----	22
-------------	-------	----

学内規則	-----	23
-------------	-------	----

平成25年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式

平成25年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式が10月1日（火）、事務局3階大会議室において執り行われました。

平成25年度秋季の入学内訳は、次のとおりです。

○医学部医学科	20名
○理工学研究科（博士前期課程）	2名
○農学生命科学研究科	5名
○医学研究科	4名
○理工学研究科（博士後期課程）	4名
合計	35名



25年度秋季入学者



告辞を述べる佐藤学長

告 辞

厳しい暑さの夏も過ぎ、ようやく秋の気配が感じられる今日この頃になりました。そんな中、ここ弘前大学事務局大会議室において、平成二十五年度秋季入学式を挙げることは、私たち弘前大学学生・教職員にとって大きな喜びとするところです。本日入学の日を迎えられた学部学生二十名と大学院生十五名の皆さんに対し、弘前大学の全構成員を代表して、心から歓迎の意を表するとともに、お祝いを申し上げます。皆さん、入学おめでとうございます。

さて、大学の最大の使命は教育にあることは言うまでもありませんが、やがて皆さんが学士あるいは修士・博士の学位を得て卒業され、日本社会の、あるいは世界のリーダーとして活躍することが、弘前大学における教育の最大の目的であります。そのために私たちがなすべきことは、皆さんが意欲を持って学び、可能な限りの成果を挙げることができるように支援することであり、皆さんは、その支援を最大限に利用して自らを育むことが教育の本当の姿であると、私は信じています。したがって皆さんは、教育の主体は自分にあることを改めて思い起こして下さるようお願いいたします。例えば学部レベルの教育であっても、講義や実習などで教わることを吸収するだけにとどまっていたのでは本当の教育とは言えないのです。講義や実習などの中心となるであろう、既に確立された知識や技術を、皆さんは、さらに発展させていく使命を負っていることを強く意識していただきたいと思います。具体的には、授業で習ったことを契機に、自ら学問を深めていくことを実践しなければなりません。

最近、我が国の企業の中には、新規採用においても、日本人ではなく外国の若者を雇用する例が少なからずみられるようになりました。製造業を中心として、安価な労働力を求めて外国人を雇用する場合もあるでしょうが、それにとどまらず、今や我が国の産業や政策の対象は世界規模になりつつあり、そのことが外国人を求める企業が増えている原因です。また、特に地方の大学は、地方の自治体や企業で活躍する人材を多数送り出していますが、地方で活躍することが、今や世界レベルで仕事をするにつなげる時代になりました。大学院においては、世界で他にはない研究成果を求めた努力が続けられるのは当然のことですが、学部教育においても、世界的視野を持って活躍する人材に皆さんが育つよう、社会から求められています。

弘前大学では、皆さんが世界的視野を持って活躍する人材に育っていくことを目標として、様々な取組を実施しています。このような大学の取組を十分に活用して、また、自らの努力を重ねることで、やがて皆さんが社会のリーダーとなり、国際社会に貢献する人材になって下さるようお願いいたします。また、本日の入学式では、十人の海外からの留学生を迎えることができました。留学生の皆さんの存在は、我が国の学生にとってもさまざまな意味で刺激となり、私たちが目指す教育の国際化に大いに貢献することでもあります。留学生の皆さんも、我が国の学生と大いに交わり、広い意味での学びの成果を挙げていただくようお願いいたします。

この秋季入学式は春の入学式に比べると参列者も少なく、華やかさには欠けるかもしれませんが、皆さんに対する、私たちの歓迎とお祝い、そして期待の気持ちには、いささかも劣るところはありません。また、この会場では、弘前大学の六〇有余年の歴史を造って来られた十二人の歴代学長も、私の後ろから皆さんを見守っておられます。この入学式は、皆さんが今後の弘前大学の歴史の一端を担うことになった日でもあります。どうか、高邁な意識をもって、そして新たな出発を遂げた今日の入学式の感激を忘れることなく、これからの学びの道を力強く歩んでいただきたいと思っております。

終わりに、今一度、今後の弘前大学における皆さんの学生生活が実り豊かなものになるよう祈念して、平成二十五年度秋季入学式の告辞と致します。

平成25年10月1日

弘前大学長 佐藤 敬

平成25年度 弘前大学「HIROSAKIはやぶさカレッジ」入校式

10月1日（火）、事務局大会議室において、平成25年度弘前大学「HIROSAKIはやぶさカレッジ」の入校式を行いました。「HIROSAKIはやぶさカレッジ」とは、英語圏とアジア圏の短期海外留学、英語による修了研修などを必修とした、グローバル人材育成のための2年間の特別な教育課程を提供するプログラムです。

入校式には、佐藤 敬学長（校長）、中根明夫理事・副学長（副校長）をはじめ、理事・監事・学長特別補佐・学部長らが出席するとともに、第1期の入校生として人文学部から3名、医学部保健学科から1名、農学生命科学部から1名の計5名が出席しました。

入校式では、佐藤校長が「この制度を有効活用し、英語コミュニケーション能力の向上と国際人として自ら取り組む努力をしてほしい」と挨拶しました。また、入校生を代表して吉川和亨さんから「語学と文化力だけでなく、国際社会で強く生き抜く力を身につけたい」と将来の抱負が述べられました。

入校式終了後には、佐藤校長、中根副校長と入校生との懇談会が行われ、終始和やかな雰囲気での歓談となりました。今後、入校生は言語コミュニケーション能力、多文化環境における共生力、自文化の足元を相対化しながらみつめる力を身につけ、卒業までに15単位以上の授業科目の修得を目指すことになります。



入校式の様子



入校生代表による挨拶

人文学部2年 辰巳真広さんに学長特別賞を授与しました (「MOS世界学生大会2013」エクセル部門 世界第8位入賞)

7月31日～8月3日（現地時間）、アメリカ合衆国ワシントンD. C. で開催されたパソコン技術の国際コンテスト「マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト（MOS）世界学生大会2013」にエクセル2010部門の日本代表として出場し、世界第8位入賞を果たした人文学部2年の辰巳真広さんに対し、10月7日（月）、「弘前大学Distinguished students賞」を授与しました。

この賞は、今回の辰巳さんの功績を讃え、学長による特別な賞として学長命名により新たに創設したもので、佐藤学長から「本学第1号の表彰です。世界での第8位は本当にすごいことで、他の学生への励みもそうですが、自身の励みにもし、今後も努力し続けてほしいと思います。」と学生の功績を讃える言葉が贈られました。

また、辰巳さんから「初挑戦の大会で自身第8位という結果に満足はしています。今回のこの成績は、周りの教員や学友達の協力支援があつてのものであるので、大変誇らしく思っています。」と謝辞が述べられました。



受賞した辰巳真広さん（前列中央）と佐藤学長（前列左）、中根理事（前列右）、
今井人文学部長（後列左）、三浦人文学部事務長（後列右）

名誉教授との懇談会を開催

10月10日（木）、弘前大学創立50周年記念会館岩木ホールにおいて「名誉教授との懇談会」を開催しました。

この懇談会は、名誉教授を迎え、弘前大学の管理運営について忌憚のない意見を伺うために例年10月に開催しており、今年度は名誉教授10名と大学側から学長をはじめ21名が出席しました。

はじめに学長より「現在、大学は改革を求められており、大きな改革の波が押し寄せてきている。この波を乗り越えて行くためにも、名誉教授の先生方から忌憚のない御意見を頂戴して、確実に力強く改革を押し進めていきたい。」との挨拶があり、続いて、この1年間における大学の業務実績を総括し、その後、各学部・研究科長及び各研究所長がそれぞれ現況報告を行いました。

名誉教授からは「成績優秀で経済的に困窮している入学希望者に、入学料全学免除を入学前に確約する学生支援制度は大変素晴らしい。更に入学後の成績もしっかりフォローアップしていただきたい。」「福島県での被ばく医療の取組について、被災地の医療関係者等から大変高く評価されている。今後の取組に期待している。」といった意見が出され、和やかな雰囲気の中で閉会しました。



佐藤学長による挨拶



参加された名誉教授

学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム 平成25年度「共通授業」開講

弘前市内の6大学が加盟している学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム（事務局：弘前大学）では、弘前市と共催で、加盟大学の学生を対象とした「共通授業」を10月10日（木）に、本学コラボ弘大8階の八甲田ホールで開講しました。

この「共通授業」は、今年度から新たに実施する事業で、「地域が抱える課題とは？」をテーマに、地域の課題を具体的に理解し、その解決について自ら考える人材を育成することを目的としています。弘前市の教育や観光、街づくりなど各担当分野の現状と課題について、弘前市長並びに弘前市の各部長が講演を行い、グループ毎に課題の解決策を協議するもので、受講生は、5大学・短期大学からの学生47人です。12月12日まで毎週木曜日の18時半から、本学および弘前市民文化交流館ホールを会場として全10回で開講します。

1回目は、本コンソーシアムの会長でもある佐藤学長の挨拶の後、講師の葛西弘前市長から、「まちの持続的発展を目指して」と題して、マニフェストによる自治体経営および弘前市が目指すビジョン等について講義がありました。その後、参加した受講生は6グループに分かれ、グループディスカッションを行いました。

最初は緊張の面持ちであった学生達でしたが、ディスカッションでは大学間を超えた活発な討議や葛西市長との質疑応答が行われ、いろいろな意見や提言が発表されました。

この「共通授業」は、来年度以降についても、地域文化や産業等で活躍されている方々もさらに講師に加えて実施する予定です。



佐藤学長による挨拶



学生を前に講義をする葛西弘前市長



受講生からの質問に答える葛西弘前市長



活発なディスカッションを行う受講生ら

弘前大学延辺事務所開所式

10月15日（火）、延辺大学において、本学としては3番目の海外拠点となる弘前大学延辺事務所の開所式を行いました。

本学からは佐藤学長、江羅理事、大河原理事、佐々木農学生命科学部長ら関係者6名が出席し、延辺大学からは、朴学長、崔副学長、柳国際交流合作処長ら7名が出席しました。

はじめに佐藤学長から、延辺事務所開設のお礼と今後の両大学の発展を祈念する旨の挨拶があり、続いて「弘前大学延辺事務所の設置に関する覚書」の調印が行われました。

その後、延辺大学朴学長による歓迎の挨拶があり、延辺事務所開設を機に弘前大学と延辺大学の教育研究交流がますます活発に行われることへの期待が感じられました。

開所式に続き、延辺事務所が入居する国際交流合作処の玄関前で、両学長による看板の除幕が行われ、関係者が延辺事務所内を視察し、始終和やかな雰囲気の下、開所式は終了しました。



延辺大学朴学長（左）と手を取り合う佐藤学長（右）



弘前大学延辺事務所看板



弘前大学延辺事務所開所式



弘前大学延辺事務所内での記念撮影

弘前大学資料館 第2回企画展 開催

10月21日（月）から、弘前大学資料館 第2回企画展「白神標本保存百年プロジェクト ―標本が語りだす―」が始まりました。

世界自然遺産「白神山地」の自然も不変のものではなく、常に人の活動や気候変動の影響を受けて変化しています。弘前大学白神自然環境研究所では、白神山地の動植物相の解明と、今後起こると考えられる変化を記録するため「白神標本保存百年プロジェクト」を立ち上げました。

この展示では、白神山地の多様な動植物を示しながら、動植物の標本を収集、保存することの意義、標本から分かること、標本を用いた研究例などを紹介します。

期 間： 10月21日（月）～12月20日（金）

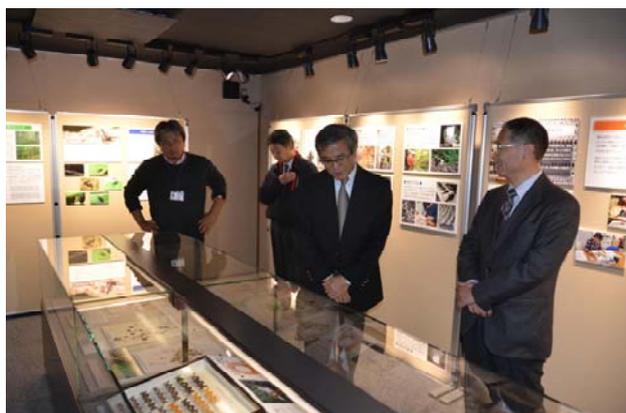
《土・日・祝・休日は休館》

時 間： 10：00～16：00

場 所： 弘前大学資料館 企画展示室



弘前大学資料館 第2回企画展の会場内



企画展を見学する佐藤学長

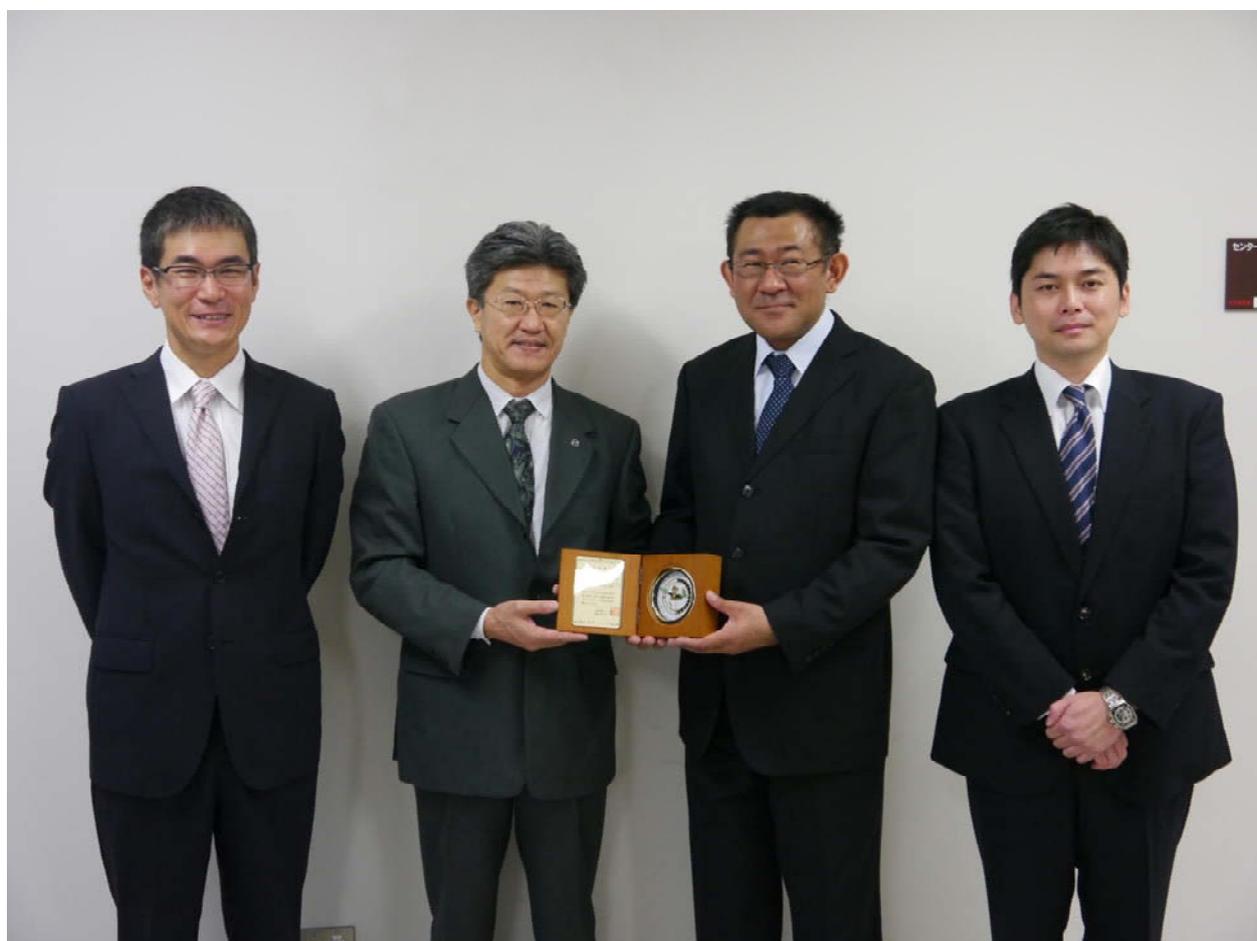


企画展の全体図

マツダ財団研究助成「青少年健全育成関係」部門に採択

本学生涯学習教育研究センターの深作 拓郎 講師の研究課題「大学生を対象とした子育て・子育て支援への参加プログラムの開発」が、第29回（2013年度）マツダ財団研究助成「青少年健全育成関係」部門に採択されました。

10月25日（金）、同財団の魚谷滋己事務局長から深作講師へ贈呈書が交付されました。同研究は、本学を中心とした5人による共同研究で行われ、期間は1年間です。育児支援を軸にした社会参加プログラムを作成・実施し、育児意識や地域愛着についての学習効果を検証します。



左から、推薦者の曾我亨生涯学習教育研究センター長、マツダ財団魚谷滋己事務局長、研究代表者深作拓郎講師、共同研究者の教育学部飯野祐樹講師

第13回弘前大学総合文化祭 「テーマ『結 -むすぶ-』」を開催

第13回弘前大学総合文化祭が10月25日（金）から27日（日）の3日間にわたり、本学文京町キャンパスで開催されました。

今年のテーマ
『結 -むすぶ-』

つながりでつくる
つながりをつくる
ひろがっていく喜びを
たくさんの人に

今年のテーマは「結 -むすぶ-」です。これには、弘大祭実行委員会の「普段あまり関わることのない学生、教職員、近隣の方々などと文化祭を通じて新たなつながりを持ち、弘前大学から青森県、東北全体を盛り上げていきたい」という想いや「文化祭に向けて努力した多くの人の頑張りが実を結び、よりよい結果を残し、素晴らしい文化祭にしたい」との想いが込められています。

オープニングフェスティバルでは、あいにくの雨により創立50周年記念会館 みちのくホールで開催されましたが、集まった大勢の観客を前に総合文化祭実施委員会委員長の佐藤学長が声高らかに開祭宣言し、雨も吹き飛ばすような華々しい幕開けとなりました。

期間中は、学生主体の模擬店でキャンパスは賑わい、学生の日頃の研究成果をもとにした実習や実験を直接体験できる「サイエンスへの招待」をはじめとし、様々な研究発表がありました。さらに、10年振りの開催となった「ミスター&ミス弘大コンテスト2013」や「爆笑お笑いライブin HIR ODAI」、「熱唱！カラオケ甲子園」も開催され、会場は大きな拍手と笑いに包まれました。県内各地から計10チームが集合し、華麗な演舞を披露した「よさこい弘大」といったイベントの他に、一般来場者が参加できる「BINGOだよ！全員集合!!」や「大抽選会」など多彩な催しも行われました。

昨年同様、包括協定を締結している弘前市により行われた「地元産農産物等販売会」や、鱈ヶ沢町で採れた海と山の幸の紹介及び販売を行った「鱈ヶ沢物産フェア」にも多くの来場者が訪れていました。

本学後援会からの助成によるキャンパス内外を彩る幟、提灯も掲げられ、お祭りムードを盛り上げていました。

学生、教職員、地域住民が一体となり本学の更なる飛躍が感じられる3日間となりました。

【全学イベント】

Opening Festival
Acoustic live 2013
よさこい弘大
Final Festival
花火

【学術文化祭】

○人文学部

-
- ・特別展「八郎潟の縄文から弥生」
 - ・雇用政策研究センター研究成果公開
 - ・人文学部公開講座「日本を知る、世界を知る」
 - 教育学部
 - ・スポーツフェスティバル2013 「遊びのバイキング」
 - 医学研究科
 - ・最新医療について（1. 目の病気 2. アンチエイジング 3. がんの治療）
 - 医学部附属病院
 - ・市民公開講座「肺がんについて知っておくこと ―診断と治療」
 - 保健学研究科
 - ・市民公開講座「がんの放射線治療」
 - ・人体の構造 ～線描図と写真による解剖記録～
 - 農学生命科学部
 - ・公開講座「青森からみえる日本農業の国際化」
 - 地域社会研究科
 - ・あじがく
 - 北日本新エネルギー研究所
 - ・エネ展 ～新エネルギー創造のご紹介～
 - 白神自然環境研究所
 - ・白神山地の自然とその利用
 - 地域共同研究センター
 - ・産学連携特別講演会―弘大GOGO フェンド成果発表―

【弘大祭オフィシャルイベント】

ミスター&ミス弘大コンテスト2013

輝け！パフォーマンスショー！

熱唱！カラオケ甲子園！

BINGOだよ！全員集合!!

爆笑お笑いライブ in HIRODAI

弘大クイズ大会2013

チーム対抗戦 ～弘大秋の陣～

弘大バンドFestival ―2013―

弘大No.1の食通を決めてほちい

ペアの絆を見せてくれるかな？いいとも！

大抽選会

着ぐるみとお友達になってみませんか？

スタンプラリー2013 ～逃走犯をさがせ！～

弘前大学ソフトボール大会2013

なりきりたか丸くん！

M（模擬店）―1グランプリ！

【学部祭】

人文祭

教育祭

医学祭

理工祭

収穫祭



佐藤学長による開祭宣言



山本実行委員長による挨拶



各サークル等団体による出店



ミスター&ミス弘大コンテスト2013



弘前大学YOSAKOI サークル「焔舞陣」による華麗な演舞



アカペラサークルV.E.Lによる発表



サイエンスへの招待



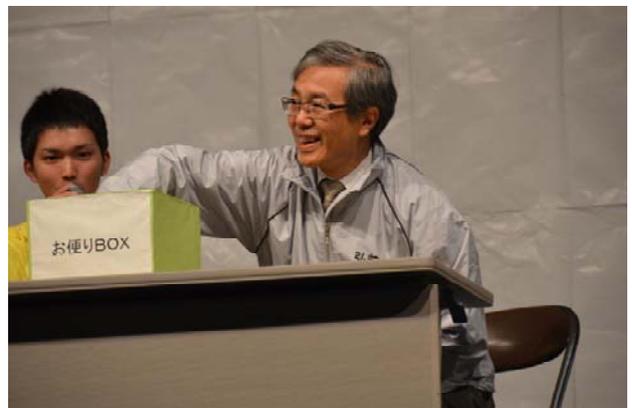
学生サークルTeens & Lawによる模擬裁判員裁判



鱈ヶ沢物産フェア



熱唱！カラオケ甲子園！



Final Festival

コンケン大学（タイ王国）人文社会学部長等来学

本学の国際交流協定校であり、また、海外事務所を設置しているコンケン大学の人文社会学部からクルチダ学部長、パラディー副学部長及びラッチャニー日本語講師が10月25日（金）から11月1日（金）まで本学を訪れ、学長及び各理事並びに人文学部長を表敬し、様々な意見交換が行われました。

滞在期間中は、本学の教職員とも交流を行い、今後の研究者交流の可能性やコンケン事務所の発展的な利用方法などについての活発な意見交換が行われました。また、積極的に本学学内施設の視察、大学周辺環境（弘前市内の施設等）の見学、滞在中に行われていた弘前大学総合文化祭の見学などを行い、タイに帰国してからコンケン大学の学生たちに紹介するための資料等を収集されていました。

さらに、パラディー副学部長が授業に飛び入りで参加したほか、ラッチャニー日本語講師による特別講演会「コンケン大学の紹介」が開催され、多くの学生及び教職員、タイからの留学生などがラッチャニー先生の流ちょうな日本語によるコンケン大学の紹介に耳を傾けていました。

今回のクルチダ人文社会学部長等の訪問は、本学とコンケン大学との間で行われている交流の益々の発展を感じさせるものとなりました。



学長表敬の様子



今井人文学部長との懇談



ラッチャニー講師による講演

延辺大学 朴 一龍 教授、裴 英玉 副教授が来学

本学は、中国吉林省にある延辺大学と平成12年8月28日に国際交流協定を締結して以来、学生及び教員との交流を行ってきました。

平成21年度から毎年行われている教員交流プログラム（教員の相互派遣による学術交流）により、10月8日から約4週間の日程で、延辺大学農学部園芸学科 朴 一龍 教授と外国語学部日本語科 裴 英玉 副教授が来学しました。

朴教授と裴副教授は、滞在中に本学佐藤学長および神田理事、江羅理事、和氣国際連携本部長への表敬や弘前市長表敬、また、教育・研究についての情報交換、東京大学および明治大学での文献調査等を行いました。また、学部の垣根を越えた学生・教職員との交流、時間を惜しんで多くの交流及び経験をされました。

また、今回の滞在中に、朴教授は10月30日（水）に農学生命科学部のセミナーにて講演され、延辺大学の特色や、朴教授の専門である中国におけるサルナシの品種開発、栽培面積などについて講演されました。

裴副教授は10月28日（月）に行われた講演会にて、延辺大学の紹介や裴副教授の専門である日本語の可能表現（有他自動詞が可能の意味を持つもの）について講演され、流暢な日本語で楽しく懇談されました。

朴教授、裴副教授は、11月1日（金）まで日本に滞在されました。



朴教授、裴副教授 学長表敬の様子



朴一龍教授による講演



裴英玉副教授による講演

テネシー大学マーチン校（UTM）Richard J. Helgeson教授が来学

本学の国際交流協定締結校であるテネシー大学マーチン校から、Richard J. Helgeson教授（テネシー大学工学部長）が、10月17日（木）から約2週間の日程で来学されました。

本学とUTMとは、昭和55年に本学初の大学間交流協定を締結しました。昭和60年からUTMの申し出により、本学教員のUTM客員教授としての派遣が開始され、昭和62年からは相互交流を実現するため、UTMからの研究者受入れを開始しました。それ以降、毎年研究者の受入れ・派遣を行っており、Richard J. Helgeson教授は27人目の招へい研究者となります。今年度は、理工学研究科が受入部局となり、地震を専門とした研究交流が行われました。

Helgeson教授は、10月22日（火）には佐藤学長を表敬訪問され、テネシー大学の特色や自身の専門分野について説明すると同時に、今回の弘前大学訪問で、研究情報交換等により見識を深めたいと抱負を語られました。

また、10月23日（水）には、理工学研究科主催による、学部学生向けおよび大学院生向けの2つの特別講演会（「Structural Response to Earthquake Excitation」および「Semi-Active Strain Energy Storage Device for Earthquake Applications」）を行い、翌日10月24日（木）は「Hiking & Camping in America」を題した講演会も行いました。

講演会はすべて英語で行われましたが、それぞれ約60名の教職員や学生が参加し、Helgeson教授による貴重な講演に熱心に耳を傾けていました。講演の最後には、活発な質疑応答が行われ、大いに盛り上がりを見せていました。

約2週間という短い滞在期間でしたが、研究交流、理工学研究科の教職員・学生との交流、県内各施設の視察も行われ、充実した来日となったようです。



学長表敬訪問（Helgeson教授：前列中央）



特別講演をするHelgeson教授

■ 諸 会 議

▼役員会

10月 7日（月）

審議事項

- 1 学内諸規則の一部改正について
(1) 国立大学法人弘前大学テニュアトラック制に関する規程の一部改正について
- 2 平成26年度学生募集要項（一般入試）について
- 3 平成26年度競争的資金申請の基本方針について
- 4 平成25年度弘前大学競争的資金獲得支援事業について

報告事項

- 1 認証評価に係る訪問調査について
- 2 国立大学法人弘前大学の平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
- 3 ミッションの再定義について
- 4 平成24事業年度財務諸表の承認について
- 5 国立大学法人の財務等に関する説明会について

10月22日（火）

審議事項

- 1 学内諸規則の一部改正について
(1) 国立大学法人弘前大学テニュアトラック制に関する規程の一部改正について
- 2 平成26年度学生募集要項（一般入試）について
- 3 大学間交流協定の更新について

報告事項

- 1 国立大学法人弘前大学の平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
- 2 大学ポートレート（仮称）について
- 3 弘前大学延辺事務所の開所式について

▼教育研究評議会

10月 8日（火）

審議事項

- 1 学内諸規則等の一部改正について
(1) 国立大学法人弘前大学テニュアトラック制に関する規程の一部改正について
- 2 平成26年度学生募集要項（一般入試）について

報告事項

- 1 教員の採用等について
 - 2 平成25年度協定校研究者交流について
 - 3 弘前大学「HIROSAKI はやぶさカレッジ」について
 - 4 FD ワークショップについて
 - 5 弘前大学講演会「課題解決型学習の実践と課題」について
 - 6 総合文化祭の実施について
 - 7 平成26年度競争的資金申請の基本方針について
 - 8 平成25年度弘前大学競争的資金獲得支援事業について
 - 9 2013年度弘前大学シニアサマーカレッジについて
 - 10 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム平成25年度「共通授業」の開催について
 - 11 白神山地世界自然遺産登録20周年シンポジウムについて
 - 12 寄附講座「大館・北秋田地域医療推進学講座」設置に係る協定の締結について
-

13 委員会等報告

- (1) 教育推進機構会議
- (2) 教育委員会
- (3) 入学試験委員会
- (4) 21世紀教育センター運営委員会
- (5) 教員免許状更新講習支援室運営委員会・教員免許状更新講習実施委員会合同会議報告
- (6) 研究委員会

▼教育委員会

10月30日（水）

審議事項

- 1 「弘前大学入学式及び学位記授与式の日程に関する申合せ」の一部改正について
- 2 平成25年度後期「学生による授業評価アンケート」の実施について
- 3 弘前大学学生の懲戒処分に関する規程の改正について
- 4 弘前大学学生表彰実施要項の見直しについて

報告事項

- 1 第34回全国国立大学学生指導担当副学長協議会について
- 2 平成26年度新入生の授業開始までの日程について
- 3 平成25年度前期懲戒処分について
- 4 自転車の盗難防止について
- 5 防災訓練の実施について
- 6 平成26年度日本学生支援機構大学院予約採用推薦数について
- 7 平成25年度秋季入学入学料免除・徴収猶予者について
- 8 ゆめ応援プロジェクト選考結果について
- 9 弘前大学総合文化祭の実施について

▼研究委員会

10月15日（火）

審議事項

- 1 平成26年度弘前大学特別研究員の募集について

報告事項

- 1 平成26年度競争的資金申請の基本方針について
- 2 平成25年度弘前大学競争的資金獲得支援事業について
- 3 機器分析センターOS対策状況報告について
- 4 地域共同研究センター運営委員会の報告について

新任部局長等紹介

【平成25年10月1日発令】



国際連携本部長(教授)
ワケ タイジ
和氣 太司
 前職: インドネシア教育文化省
 高等教育政策アドバイザー
 (JICA専門家)

人 事 異 動

〔採用〕

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年10月1日		木村 史	一般職員(財務・財企) [H26.5.8まで]
平成25年10月1日		和氣 太司	教授(国連)
平成25年10月1日		土井 雅之	講師(人文)
平成25年10月1日		平賀 典子	助教(病院) [H30.9.30まで]
平成25年10月1日		赤坂 治枝	助教(病院) [H30.9.30まで]
平成25年10月1日		熊谷 玄太郎	助教(病院) [H30.9.30まで]
平成25年10月1日		吹田 淑子	助教(病院) [H30.9.30まで]
平成25年10月1日		久保 寛仁	助教(病院) [H30.9.30まで]
平成25年10月1日		石田 尚	助手(医) [H30.9.30まで]
平成25年10月1日		秋元 直樹	助手(医) [H27.3.31まで]
平成25年10月1日		三浦 理絵	助手(医) [H30.3.31まで]
平成25年10月1日		服部 薫	助手(病院) [H30.9.30まで]
平成25年10月1日		得居 範子	助手(病院) [H30.9.30まで]
平成25年10月1日		松下 容子	助手(病院) [H30.9.30まで]
平成25年10月1日		高田 典和	助手(病院) [H30.9.30まで]
平成25年10月1日		岡本 哲平	助手(病院) [H30.9.30まで]
平成25年10月16日		工藤 耕	助教(病院) [H30.10.15まで]
平成25年10月24日		高井 しのぶ	教諭(附小) [H25.12.4まで]

〔任用更新〕

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年10月1日		金子 高英	講師(病院) [H32.9.30まで]
平成25年10月1日		鈴木 香	助教(病院) [H30.9.30まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年10月1日	施設整備・管理グループ主任(施設・整計)	及川 秀和	施設整備・管理グループ係長(施設・整計)

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年10月1日	人事グループ主任(病院)	坂本 啓	人事グループ主任(総務・人事)
平成25年10月1日	附属施設グループ主任(農生)	中島 誠	本町施設グループ主任(施設・本町)
平成25年10月1日	経理調達グループ主任(病院)	伊瀬谷 直樹	総務グループ主任(教育)
平成25年10月1日	総務グループ主任(教育)	會津 豪	経理調達グループ主任(病院)
平成25年10月1日	一般職員(病院・経調)	山崎 雄貴	一般職員(財務・財企)
平成25年10月1日	一般職員(施設・本町)	細田 修平	一般職員(施設・整計)
平成25年10月1日	一般職員(総務・広国)	下山 智裕	一般職員(医学・学務)
平成25年10月1日	一般職員(理工・総務)	櫻田 和享	一般職員(病院・総務)
平成25年10月1日	一般職員(財務・財企)	北野 智子	一般職員(病院・経調)
平成25年10月1日	一般職員(医学・学務)	佐々木 俊之	一般職員(理工・総務)
平成25年10月1日	助教(病院)	平賀 寛人	助教(医)

[命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年10月1日	教授(医)	土田 成紀	アイソトープ総合実験室長 [H27.9.30まで]
平成25年10月1日	教授(国際)	和氣 太司	国際連携本部長 [H27.9.30まで]

[免]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年10月1日	理事(企画担当)	神田 健策	国際連携本部長

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年10月1日	一般職員(教育)	庄司 晋矢	休職 [H25.12.31まで]
平成25年10月1日	一般職員(財務・予企)	島田 裕介	休職 [H25.11.30まで]
平成25年10月4日	一般職員(病院・医事)	斎藤 めぐみ	休職 [H26.3.31まで]
平成25年10月8日	学務グループ係長(医)	森 幸彦	休職 [H26.3.31まで]
平成25年10月19日	教授(人文)	作道 信介	休職 [H26.1.9まで]

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年10月1日	共同センターグループ主任(研推・社連)	松永 久美	職務復帰
平成25年10月1日	一般職員(理工・総務)	古川 和佳子	職務復帰

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年10月1日	看護師(病院)	木村 由希子	職務復帰
平成25年10月1日	看護師(病院)	成田 真子	職務復帰
平成25年10月1日	看護師(病院)	澁谷 直子	職務復帰
平成25年10月1日	一般職員(財務・総務)	藤田 康寛	育児休業開始〔H26.9.30まで〕
平成25年10月8日	看護師(病院)	水木 真知子	育児休業開始〔H26.9.30まで〕
平成25年10月17日	看護師(病院)	佐々木 礼奈	育児休業開始〔H26.3.31まで〕
平成25年10月30日	看護師(病院)	附田 優美	育児休業開始〔H26.9.30まで〕

〔離職〕

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年10月15日	看護師(病院)	平田 友香	辞職
平成25年10月31日	看護師(病院)	小泉 綾子	辞職

■ 主要日誌

- 10月1日 弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式
弘前大学「HIROSAKI はやぶさカレッジ」入校式
- 7日 役員会
弘前大学 Distinguished students 賞授与式
- 8日 教育研究評議会
延辺大学教員来学（～11月1日）
- 10日 名誉教授との懇談会
学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム平成25年度「共通授業」開講式
- 15日 弘前大学延辺事務所開所式
研究委員会
- 17日 テネシー大学マーチン校教員来学（～28日）
- 21日 弘前大学資料館 第2回企画展（～12月20日まで）
- 22日 役員会
- 25日 平成25年度亀ヶ岡文化センター特別展
「八郎潟の縄文から弥生」（～11月24日まで）
マツダ財団研究助成「青少年健全育成関係」部門 採択
第13回弘前大学総合文化祭（～27日まで）
- 30日 教育委員会

■ 学内規則

(平成25年10月1日改正)

○弘前大学学則

○弘前大学国際交流科目履修規程

言語コミュニケーション能力、多文化環境における共生力及び自国を相対的にとらえる力の育成に関するプログラムとして、HIROSAKI はやぶさカレッジを開講することに伴い、上記の規則等の一部を改正した。

(平成25年10月1日制定)

○弘前大学「HIROSAKI はやぶさカレッジ」細則

HIROSAKI はやぶさカレッジに関し必要な事項を定めるため、上記の細則を制定した。

(平成25年10月1日改正)

○弘前大学医学部規程

保健学科検査技術科学専攻において、カリキュラムの点検及び各授業科目の実施形態の見直しを行い、実習科目の教育効果の向上を図るため、上記の規程の一部を改正した。

(平成25年10月1日改正)

○弘前大学国際連携本部規程

本学と大学間交流協定を締結している延辺大学内に延辺事務所を設置することに伴い、上記の規程の一部を改正した。

(平成25年10月11日改正)

○弘前大学医学部附属病院規程

1996年にCDC (Centers for Disease Control and Prevention : アメリカ疾病予防管理センター) により公表された「病院における隔離予防策のためのガイドライン」が2007年に改訂され、従来より用いられていた「nosocomial infection (院内感染)」に替えて「Healthcare-associated infection (医療関連感染)」の用語が用いられるようになり、現在の日本の医療現場においても「医療関連感染」を用いることが一般的になっていること、附属病院感染制御センターにおいても、院内感染に限らず幅広い医療関連感染に対応してきていることから、業務に関する字句の修正を行うため、上記の規程の一部を改正した。

(平成25年10月23日改正)

○国立大学法人弘前大学テニユアトラック制に関する規程

以下の理由により、上記の規程の一部を改正した。

- ①多様かつ有用な人材を確保する観点から、現行よりさらに幅広い職に応じたテニユアトラック教員の雇用を可能とするため、所要の改正を行う。
- ②テニユアトラック教員の呼称を新たに設け、一般の教員と明確に区別するため、所要の改正を行う。

弘前大学学報第115号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111